

会 議 録		令和6年2月14日作成	令和9年3月末日廃棄
会議名	京都府右京警察署協議会（令和5年度第4回）		
開催日	令和6年2月13日（火曜日）		
時 間	午後3時から午後4時28分までの間（88分）		
場 所	京都府右京警察署 道場		
出席者	大江会長、松岡副会長、朝尾委員、石田委員、臼井委員、進藤委員、 田中委員、寺町委員、西脇委員、樋口委員、渡邊委員 （欠席 梶原委員、内藤委員） 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 地域課長代理、刑事課長代理、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計11人		
諮 問 事 項	令和5年の回顧と令和6年の展望について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 副会長 諮問事項説明 令和5年の回顧と令和6年の展望について～右京警察署幹部 【委員】 右京署が採用試験の勸奨活動に力を入れているとあった。私は、大学の就職支援センターで勤務しているが、民間企業は景気に左右される。 警察、消防や役所は府市町村単位で採用を行っており、合格へのハードルが高く、志を持った学生が頑張っている。 【委員】 京都市消防職員の採用はこれまでの年2回だったのが、1回になった。 【委員】 右京区では、平成27年度に「世界一安心安全なまち右京」の実現に向け、右京警察署や関係団体などと「毎月20日は右京安心安全・防犯の日」と定め、防犯活動に取り組んでいるが、昨年は刑法犯認知件数が増加傾向にあった。		

会 議
内 容

被害の中でも自転車盗が多いと聞き、区役所、警察やボランティアと協力しながら大型ショッピングセンターに来られた方に対し、ツーロックなどを啓発してきたが、今後は別の商業施設やスーパーなどでも広報活動を継続したい。

【委員】継続することで、意識を高めることができるのではないか。

【委員】猿や熊などの目撃通報が区役所にあった。山に餌が少なくなり、町で目撃されていると思われる。

中には、自動ドアの中に入ってきたなどの連絡もある。餌となる不要な果実は伐採するなど寄せ付けない対策が必要である。

【委員】猿や熊の対応は警察か。

【警察】警察は人に被害が及ばないように、主に広報活動を行う。

【委員】猿の対応は区役所だが、人にけがや危害を与えていなければ、山へ帰そうとする。人に危険が伴う場合は、檻で捕獲を試みたり、猟銃を保有した方に駆除を依頼する。

熊は京都府林務事務所の対応になる。

【委員】この2年間で熊の捕獲は、高雄地区で1件あった。愛宕山の山中では熊の目撃情報もあった。

【警察】警察は通報があれば、現場臨場し大楯など利用して捕獲を試みるが、駆除するまでの時間稼ぎになるのではないか。

区役所などと情報共有や連携を図り、市民の安全確保に努める。

【委員】息子が通う小学校では、保護者が年に数回、当番制で見守り活動を行い、地域で子供たちの安全を見守っている。

【委員】自分の住んでいる右京は平和な町と思っており、これまで、自宅に止めた自転車に鍵を掛けず、玄関ドアに自宅鍵が刺さったままのことがあったことから、今日の話聞いて自分のみならず家族にも、しっかりと防犯の意識改革をさせたい。

【委員】私も、鍵を掛けず駐輪することがあった。

【委員】先日、スマホで詐欺にあった。広告をクリックし、商品を注文したが、いまだに商品が届かない。支払方法がいつもと異なる場合や、相場より安い商品には気を付けなければならない。

【委員】大学生が特殊詐欺の被害に遭うことが多い。SNSなどで知った金融セミナーに参加し、だまされて消費者金融で借金をしてしまう。

18歳以上は成人であることから、大学内でも慎重な対応をするように啓発している。

【委員】犯人を検挙することが一番の防犯になると思う。

【委員】自動車学校協会は、交通意識向上のため、幼稚園や学校に赴き、正しい自転車の乗車方法などを様々な交通安全教室を行っている。

会 議
内 容

私的企業なので、繁忙期などお断りすることもあることから、府や市から予算をもらい、低学年から高校生まで行き届いた交通教室をしたいと思っている。

【委員】「魔の7歳」という言葉がある。小学校に入学した新入生が下校時に交通事故に遭うことが多く、この年代に力を入れて教育し、交通事故を防ぎたい。

【委員】小学校進学予定の子供と保護者に対し、半日入学を実施し、通学路の安全点検を、子供目線で行い危険な場所を確認してもらった。

小学校では、警察と協力し、1年生では登下校時の歩き方、4年生では正しい自転車の乗車方法を授業として取り組んでいる。以前は地域の方が日曜日に実施していたが、受講できない生徒もいた。

また、先日、右京警察署長が右京支部学校長会議に出席していただき、通学路の交通事故防止について話をしてくれ、学校としても地域や警察と協力し、交通事故に遭わないように努めたい。

【委員】子供が道路に飛び出さないように校門にシールを貼るなど工夫している。これは、放課後、子供が校門から道路に飛び出すことを防ぐためにシールを貼る取組である。

【委員】先ほどから、委員から、「啓発」、「未然防止」、「遭わない」や「遭わさせない」などの言葉が出てきており、皆さんの思いが地元住民として心強く思う。

【委員】交番相談員が65歳以上に実施している「いたわりテレフォン」を初めて知った。

【委員】薬物や非行について、私たち大人が正しい知識で子供を正しく育てることが大切だ。

【委員】通学時間帯の見守り活動で、警察官が交通ボランティアに気さくに声を掛けており、頼もしく思えた。

学校、警察や交通ボランティアがコミュニケーションを図り、みんなが子供を守っている、地域で子供を支えているということと実感した。

【委員】警察官が、私たちの知らないところで仕事をしてくれていると思った。先日、私の住む町内は警察官と防犯訓練をしたが、施錠などの重要性を改めて認識し、防犯意識が高まった。

【委員】車道の自転車と矢羽根の標示について教えてほしい。

【警察】平成25年京都市が予算化した、自転車安全運転の施策である。

京都市内全域で施策を進めており、これに伴って幅員が狭い歩道は自転車通行規制の見直しが検討される予定である。

【委員】地元要望か施策と思っていた。

会 議
内 容

【委員】警察が幅広く、様々な事案に対応してくれることで、市民の安全がある。本当にありがたい。

【委員】警察のそれぞれの課の施策などの説明を受けたが、地域でどのような対応ができるか私たち区民も協力しなければならない。

【委員】警察だけではできないことは、行政や地域とも連携し、私もできることからやっていきたい。

以上

第4回京都府右京警察署協議会の開催状況

